

春の旅行は高知家へ！3月開催の二大イベント

大政奉還より150年。坂本龍馬ら多くの偉人を輩出した土佐が、再び熱く動き出す 「志国高知 幕末維新博 ～時代は土佐の山間より～」開催！

3月4日第一幕開幕「県立高知城歴史博物館」オープン！一般初公開「坂本龍馬書簡」展示

商店街にこたつを並べて宴会！?酒国高知を体感できる 土佐の「おきゃく」2017開催

3月4日（土）～3月12日（日）高知市内全域にて

志国高知 幕末維新博

今年は大政奉還から150年。2018年は「明治維新」から150年。

「志国高知 幕末維新博 ～時代は土佐の山間より～」開催！

今年江戸幕府が政権を朝廷に返上した「大政奉還」から150年、2018年は「明治維新」から150年の節目の年に当たります。幕末から明治維新にかけて、京や江戸から遠く離れた土佐の地において、坂本龍馬をはじめ、多くの偉人を輩出した高知県では、当時に思いを馳せ、彼らを育んだ時代につながる土佐の風土・文化・食・自然などを知っていただくため、3月4日から2か年にわたり、「志国高知 幕末維新博」を開催します。

【公式HP：<http://bakumatsu-ishinhaku.com/>】



3月4日第一幕開幕！「県立高知城歴史博物館」オープン！

開幕日の3月4日には、坂本龍馬の書状をはじめとする幕末・維新関連資料、土佐藩主山内家に伝えられた美術品など約67,000点を収蔵する「県立高知城歴史博物館」がオープンし、未公開の貴重な資料を展示するとともに、博覧会のメイン会場として企画展などを展開していきます。

【公式HP：<http://www.kochi-johaku.jp/>】



県立高知城歴史博物館

高知城歴史博物館の見どころ

【1】一般初公開！封筒に入ったままみつかった「坂本龍馬書簡」

海援隊発進！～坂本龍馬のかけぬけた時代～

特集展 2017大政奉還150年 連続特集展示 1

3月4日（土）～4月17日（月）

慶応3年（1867）4月に結成された海援隊の150周年を記念し、坂本龍馬の生涯と海援隊にゆかりの資料を展示します。初公開資料を含む龍馬直筆の書状や、彼をとりまく人物・時代にまつわる資料を通じ、幕末志士たちの熱気と息づかいをご堪能ください。



坂本龍馬暗殺のわずか5日前に書かれた書簡

【2】国宝の書「高野切（古今和歌集巻第廿）」展示

企画展 未来へひきつぐ美とかたち

3月4日（土）～4月23日（日）

土佐藩主山内家伝来の美術工芸品を展示。今見ても斬新な兜や陣羽織のデザイン、能面の幽玄、金銀時絵の美。武家の美意識をご堪能ください。国宝の書「高野切（古今和歌集巻第廿）」も展示します。（展示期間 3月4日（土）～13日（月）、18日（土））



兔耳形兜

【3】必見！高知城の大パノラマ

最上階にある高知城展望ロビー。
目の前に広がる美しい高知城の風景は必見です。



土佐のおきやく2017**土佐の酒食文化を楽しめる早春の祭り
開催12回目を迎える 土佐の「おきやく」2017**

土佐の「おきやく」は、2006年に、「土佐の食文化、酒文化」をテーマとした「春の祭り」として、「夏のよさこい」に匹敵する「祭り」を目指してスタートしました。

「おきやく」とは、土佐弁で宴会のこと。そして、「土佐のおきやく」では、アーケードの下や、公園など、オープンな場所で大宴会が繰り広げられる高知らしさを凝縮したお祭り。宴会にかかせない高知の酒食、歌や踊りはもちろんのこと、アート、まんが、スポーツなど多彩なジャンルの約40ものイベントが9日間に次々と開催されます。見知らぬ人とも自然に打ち解け合える「おきやく」には、土佐人の飾らないあたたかさや、おもてなしの精神が凝縮されています。【公式HP：<http://www.tosa-okyaku.com/index.html>】

**べろべろの神様詣でに、酒の聖地「酒国高知」へ！**

高知県は「酒国高知」を宣言しています。お座敷遊びで唄われる「べろべろの神様」を拝みたいという酔っぱらいたちの熱烈コールを受け、「おきやく」大好きなフィギュアイラストレーター・デハラユキノリ氏が制作した「べろべろの神様」。土佐の「おきやく」期間中は、高知市中央公園でその愛らしい姿が拝めます。

注目イベント ここでは、特に注目のイベントを紹介します。

◎日本一のおきやく放浪記

3月11(土)・12(日) 10:00~21:00 / 中央公園・商店街 /

※各エリアによって、開催時期が異なります。

(中央公園エリア)TEL.088-823-0989 土佐の「おきやく」事務局

(商店街エリア)TEL.080-6386-7844 日本一のおきやく事務局

商店街のアーケードに設置された東西約1kmの会場に、様々な特色を出した「おきやく」が立ち並びます。気に入った場所で、高知のおもてなしが詰まった「おきやく」を体験することができます。

**◎おきやく電車2017※事前予約**

3月10日(金)・11日(土) 18:00~19:40 / 高知市内(電車車内) /

参加料 男性4,000円・女性3,500円(ビール飲み放題、料理付・カラオケ有) /

TEL.088-833-7120 とさでん交通

高知を走る路面電車内で「おきやく」を楽しめます。

**◎土佐の「おきやく」列車2017※事前予約**

3月11日(土) 11:30~16:20 / 高知駅~佐川駅往復、司牡丹酒造 /

参加料 5,900円 / TEL.088-822-8130 四国旅客鉄道(株) ワープ高知支店

列車内でお座敷体験と酒蔵見学ができます。佐川町の食材を使った弁当も付きます。

**◎土佐のお座敷体験、土佐の酒肴**

3月6日(月)~11日(土) 18:30~20:30 / 高知市内各旅館ホテル

(5カ所) / 参加料 5,000円(事前予約) / TEL.088-823-5941 高知市旅館ホ

テル協同組合

はし拳・べく杯・菊の花・しばてん踊りを楽しみながら、土佐の地酒が味わえるスペシャルなプログラム。女性や家族の参加も多く、明るく楽しいお座敷遊びが体験できます。

**◎ご当地グルメ屋台村**

3月4日(土)・5(日) 10:00~21:00※売り切れ次第終了となる小間あり /

高知市中央公園 / TEL.088-823-0989 土佐の「おきやく」事務局

スイーツからお肉まで、県内のご当地グルメが一度に味わえます。



開催会場・期間

<志国高知 幕末維新博>

■名称
志国高知 幕末維新博
～時代は土佐の山間より～

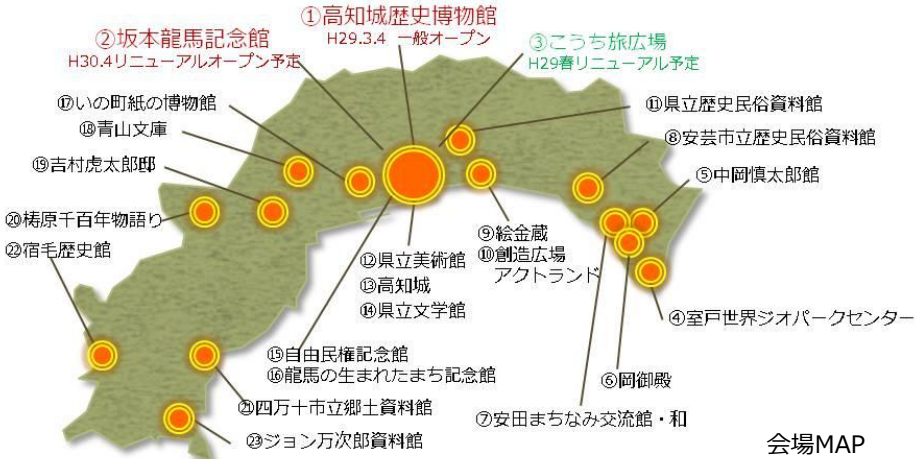
■期間
第一幕 2017年3月4日～
第二幕 2018年春～

■会場
・メイン会場
高知県立高知城歴史博物館
(2017年3月4日一般公開開始)
高知県立坂本龍馬記念館
(2017年4月から休館後、2018年4月リニューアルオープン)

・サブ会場
こうち旅広場 (JR高知駅前)

・地域会場 (計20会場)

室戸世界ジオパークセンター (室戸市)、中岡慎太郎館 (北川村)、岡御殿 (田野町)、安田まちなみ交流館・和 (安田町)、安芸市立歴史民俗資料館 (安芸市)、絵金蔵 (香南市)、創造広場アクトランド (香南市)、県立歴史民俗資料館 (南国市)、県立美術館 (高知市)、高知城 (高知市)、県立文学館 (高知市)、高知市立自由民権記念館 (高知市)、高知市立龍馬の生まれたまち記念館 (高知市)、いの町紙の博物館 (いの町)、佐川町立青山文庫 (佐川町)、吉村虎太郎邸 (津野町)、梶原千百年物語り (梶原町)、四万十市立郷土資料館 (四万十市)、宿毛歴史館 (宿毛市)、ジョン万次郎資料館 (土佐清水市)



会場MAP

<土佐の「おきやく」2017>

■名称
土佐の「おきやく」2017

■期間
2017年3月4日 (土) ～3月12日 (日)

■会場
高知市中央公園、中央商店街ほか
(※高知城歴史博物館近くで開催)

■主催者
土佐の「おきやく」2017推進会議



土佐の「おきやく」2017
リーフレット

高知県の魅力を発信するにあたり、暑苦しいほどにあったかく、人と人とのつながりを大切にする県民性を、ひとつの大家族に例えて展開している高知家プロモーション活動。

4年目となる今年は、食べ物、自然、人といった高知家の持つ「ポジティブカ」で日本の元気への貢献を目指すNIPPON POSITIVE PROJECTを展開しています。



NIPPON
POSITIVE
PROJECT

高知家プロモーション項目紹介

品目名	旬・期間	特徴
ナス 	1-6月 10-12月	高知県はナスの生産量日本一。栽培されている品種もさまざま。農薬の使用を減らし、天敵昆虫や生物農薬など、環境負荷を抑えた「エコシステム栽培」で作られている。皮にも実にも制ガン作用があるといわれる「ポリフェノール」が含まれている。
トマト 	通年	高知県はフルーツトマト発祥の地。豊富な日照時間と、平地、山地の標高差を生かして糖酸バランスがとれている高品質なブランドトマトが一年を通じて作られている。リコピンを含むトマトは、疲労回復におすすめの食材。
にら 	通年	高知県はにらの生産量日本一で、全国のおよそ4分の1が高知産。高知県のにらは肉厚でやわらかく、香りが強いことが特長。にらに含まれるβ-カロテン、カリウム、硫化アリルは、疲れが溜まった時に積極的に採りたい栄養素です。
土佐文旦 	12月 1-3月	酸味と甘味のバランスが絶妙で独特の味わいが特徴の土佐文旦。高知県がシェア9割以上を占めている。安全安心な国内産のかんきつであり、皮も楽しめる。100gあたりのビタミンC含有量はみかんよりも豊富で、爽やかな香りによるリラックス効果も期待できる。
土佐茶 	通年	高知県は「山茶」と呼ばれる茶の木が自生しており、茶の生育に最適な地質に恵まれている。土佐茶は仁淀川や、四万十川などの清流流域の急傾斜地での栽培されており、昼夜の寒暖差が大きいことや霧による天然のヴェールにより、味が深く、金色透明（きんしょくとうめい）、豊かな風味（味・香り）が特長。これからの時期、温かい煎茶や土佐炙り茶がおすすめ。
土佐あかうし はちきん地鶏 	通年	年間300~400頭しか出荷されていない貴重な品種。赤身はジューシーできめ細かく。噛むほどに肉本来のうまみがじんわりと広がる、赤身のうまさ特長。サシが入った霜降り肉と異なり、あっさりしていて、大人の胃袋にも優しいブランド牛。土佐はちきん地鶏は土佐九斤と大軍鶏の味をしっかりと受け継ぐ、弾むような歯ごたえとうまみたっぷりで脂肪少なめ、また解凍してもドリップが少ないのが特徴。
宗田節 	通年	高知県は、宗田節生産量、原魚であるメジカ（ソウダガツオ）漁獲量ともに日本一。一本釣り漁法で獲ったメジカを長年培った伝統技法で加工している。宗田節はカツオ節に比べ旨みとコクのある濃厚なだしがとれるのが特徴で、高級志向の蕎麦屋では欠かせない食材であるなど、プロの料理人に広く親しまれている。また、高知の家庭では、サラダや卵かけご飯にかけるとバリエーション豊富に使用されている。
ブランド養殖魚 ・海援鯛 ・乙女鰯 ・極美勘八 	通年	海援鯛は、安全・安心な無投薬の養殖マダイ。歯ごたえがあり、身持ちがよいのが特徴。乙女鰯は冬でもブリの成長が停滞しない温暖な宿毛湾の特性を活かし、ハーブミックスとネッカリッチ（木酢酸）を添加した飼料にて育成。極美勘八はかんぱち養殖発祥の地である高知の安心で最高品質な養殖カンパチ。
土佐和紙 	通年	千年以上の歴史と技術を引き継ぐ土佐和紙。一級河川の仁淀川をはじめとした豊かな清流のもと原料の生産や技術とともに発展。薄くて丈夫、保存性が高く、文化財修復に使用される品質の高さを誇る。ひだか和紙が生産する「典具帳紙」は世界一薄い紙と言われ、厚さはわずか0.02mm。別名「カゲロウの羽」。
土佐木材 	通年	高知は森林面積が県土の80%以上を占める日本一の森林県。世界文化遺産や名高い寺院など全国各地の歴史的建造物の修復などに使用されたり、土佐和紙、土佐漆喰と合わせて一棟まるごと自然素材の住宅建築に使用されたりする。
海洋深層水 関連商品 	通年	高知県室戸市は、日本初の海洋深層水取水施設を有し、世界初の深層水飲料の販売以降、県内では豆腐やポン酢、日本酒など数多くの商品化が進んでいる。60種以上の天然ミネラルがバランス良く含まれる海洋深層水は、夏場やスポーツ時の水分補給にオススメ。
志国高知 幕末維新博 	第一幕 2017年 3月4日~	2017年は大政奉還150年。薩長同盟の締結や大政奉還など大きな功績を残した土佐が生んだ維新の英雄「坂本龍馬」をはじめ、幕末、明治維新に関わりのあった偉人を輩出した高知県は、彼らを育んだ時代につながる土佐の風土・文化・食・自然などを知ってもらうため、二ヶ年にわたり「志国高知 幕末維新博」を開催。2017年3月4日から第一幕を開幕し、坂本龍馬の書状をはじめとする幕末・維新関連資料、土佐藩主山内家に伝えられた美術品など約67,000点を収蔵する「高知県立高知城歴史博物館」をオープン。同施設を博覧会のメイン会場として様々な企画展等を展開していく。
移住 	通年	豊かな森林と青い海の国、高知。高知県の魅力は「自然」「食」「人」。東京、大阪を中心に月1回移住に関する相談会を開催。移住体験ツアー、移住コンシェルジュへの相談等サポート体制も充実。